

ダブルロックバルブ 取扱説明書

【仕様】 ※適用パイプはJIS表示パイプです。
 ※下記は本製品の標準仕様の為、パイプの使用温度別最高使用圧力を確認して下さい。

最高許容圧力	使用温度範囲	使用流体	用途
1.0MPa	5℃～35℃ (二次側逆流時は80℃以下)	水	給水

【施工上の注意事項】

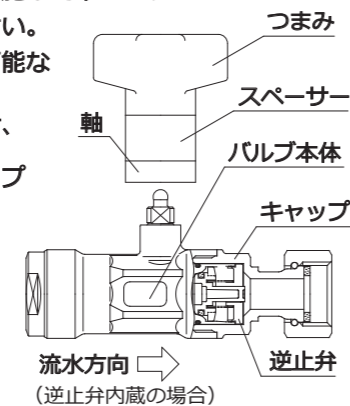
- バルブ・逆止弁は凍結により、破損する場合があります。凍結の可能性がある場合は、必ず凍結防止対策（保温処理など）を施して下さい。
- Gねじの接続には必ずパッキンを使用して下さい。
- パッキンは消耗部品です。必ず点検、交換が可能な場所に取付けて下さい。
- ねじ込みの際は下記の適正締付トルクで締付け、過大な力を掛けないよう注意して下さい。また、テーパねじのねじ込みの際は必ずキャップの六（八）角にスパナを掛けて下さい。

■適正締付トルク 単位（N・m）

呼び径	テーパねじ	Gねじ	
		ノンアスベストパッキン	EPDMパッキン
1/2	25～35	20～30	15
3/4	40～50	30～40	15

※テーパねじ適正締付トルクは、液状シール剤またはシールテープ（3～5巻）を使用する場合があります。2種類を併用する場合やシールテープの巻数が多い場合、適正締付トルクでもねじ込みすぎとなり割れの原因となりますので、ねじ込みすぎないように注意して下さい。

※相手物にも適正締付トルクがある場合は小さい方に合わせて下さい。




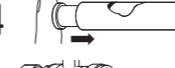




● バルブ本体とキャップは分解してはいけません。
 ● 半開状態で使用してはいけません。シートを損傷し、漏れの原因となります。

⚠ 逆止弁内蔵製品を配管する場合、流水方向に注意して下さい。本体に流水方向が表示してあります。

⊘ 挿入部パイプキズ厳禁

【パイプ接続手順】

- 1  パイプカッターを用いて管軸に直角に切断して下さい。
- 2  シールをはがしインコアを取出して下さい。
- 3  はがしたシールをインコア挿入部の長さに合わせ、パイプに貼付けて下さい。
- 4  インコアをパイプに根元まで差込んで下さい。
- 5  継手にシールの目印までパイプを差込んで下さい。
- 6  パイプを引張り、抜けないことを確認して下さい。

【接続時の注意事項】

- ① パイプは必ず管軸に直角に切断して下さい。ノコギリ等での切断及び2mm以上の斜め切断は漏水の原因となります。
- ① 被覆材の切除には必ず素手又は専用被覆カッター（弊社品番：OSC-058）を使用し、市販のカッターナイフ等を使用しないで下さい。パイプにキズを付けると漏水の原因となります。
- ① パイプの継手挿入部にゴミや汚れ、キズが付いている場合は、必ず事前に拭取る又は先端部を切断して取除いて下さい。
- ① パイプに挿入深さ目印を必ず付け、継手へ確実に差込んで下さい。挿入不足は漏水の原因となります。
- △ 再組付時の不備（部品の欠品、変形および締付力不足等）によるトラブルは責任を負いかねますので注意して下さい。
- ⊘ 埋設してはいけません。



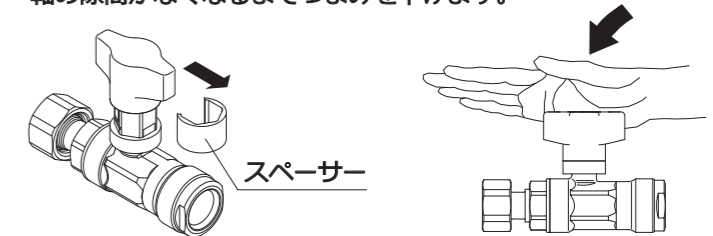
1BG-340-CBW-2+000

【長さ調節式ハンドルの変換手順】

⊘ ハンドルに過大な力を加えてはいけません。破損の原因となります。

<ロングハンドル → ショートハンドル>

1. スペーサーを取外します。
2. バルブ本体を抑えながら手でハンドル上部をたたき、つまみと軸の隙間がなくなるまでつまみを下げます。



⚠ 変換の際、ハンドルで指などを挟まないよう注意して下さい。
 再度ロングハンドルに戻す場合は、スペーサーが必要となりますので、スペーサーを紛失しないよう注意して下さい。

<ショートハンドル → ロングハンドル>

1. やむをえずショートハンドルからロングハンドルへ変換する場合つまみと軸の間の窓にマイナスドライバーを必ず奥まで挿入し、テコの原理を利用して固定状態を解除します。
2. 軸を持ちながらカチッと音がする位置までつまみを引き、スペーサーをはめます。

